

逗子市文化振興基本計画調査・評価委員会

令和５年度事業に関する評価報告書

令和６年１２月

目 次頁

1. 趣旨	1
2. 調査・評価の対象と方法	2
3. 総括	3
4. 基本計画と対象事業の関係	4
5. 評価シート	5
参考資料	22
1. 逗子文化プラザホール 令和5年度自主文化事業一覧	
2. 逗子市文化振興基本計画 調査・評価委員会規則	
3. 逗子市文化振興基本計画 調査・評価委員会 委員名簿	
4. 逗子市文化振興基本計画 調査・評価委員会 会議日程	

1. 趣旨

逗子市文化振興条例（平成 21 年 10 月）（以下、「条例」という。）では、「文化創造の主役は市民であり、市民は文化を創造し、享受する権利を持つことを市は認識しなければならない。そのために、市は市民の文化活動を広く支援し、必要な環境を整備する使命を負っている。」（前文より）と述べ、市の責務として「市は、文化活動を行う市民、団体及び事業者と協働し、地域における人材、資源、情報等を活かして、文化の振興を図るものとする。」（第 4 条第 3 項）と定めている。この条例は、制定の際に様々な検討が重ねられた結果、文化を独立した行政分野として位置付け、その振興に取り組むべきであることを指摘し、文化における市民の権利を明文化するとともに、市の文化振興施策の基本方針を定め、市の責務をより明確に示したものである。

これに基づき、「文化振興施策を総合的かつ計画的に推進するため」に『逗子市文化振興基本計画（平成 23 年 3 月策定、平成 27 年 3 月改訂）』（以下、「基本計画」という。）を策定した（条例第 5 条）。そこで「地域の文化を市民の手で拓く」を基本方針として、6 つの「施策の柱」のもと、18 の「基本施策」を体系化している。

また、「基本計画の推進に当たって、基本計画に基づく施策、事業等が的確に実施されているかどうか等について、調査、評価等を行う組織を設置するもの」（条例第 7 条）とされ、平成 24 年度に文化振興基本計画調査・評価委員会（以下、「委員会」という。）が発足した。この組織は、「基本計画の内容及び基本計画に基づく施策、事業等の評価、見直し等について調査、検討を行い、その結果に基づき市に提言するもの」（条例第 7 条第 2 項）とされている。

令和 5 年度の評価に当たっては、前年度に引き続き、基本計画の 6 つの「施策の柱」とそれぞれの施策の柱の下に位置付けられた「基本方針」が、令和 5 年度中に実施された事業によってどの程度実現できたか、という視点から評価するとともに、上記の事業のうち、基本計画の上位計画である逗子市総合計画実施計画及び基幹計画「共に学び、共に育つ、共育（きょういく）のまち推進プラン」の対象事業として位置付けられているものについては、計画上での目標を示し、達成状況を評価の中で考慮している。

今後、この評価報告書を踏まえ、基本計画に基づく施策や、事業がよりの確に実施され、市の文化振興施策が市民に資するものとなることを願っている。

2. 調査・評価の対象と方法

令和5年度は、令和4年度の調査・評価の方法（平成29年度に評価方法変更、平成30年度に評価事項追加）を継続することとした。

評価に当たっては、6つの「施策の柱」毎の評価シートを設け、「基本施策」が掲げる目標に対し、対象事業の取組みの結果と、文化振興所管課（文化スポーツ課）の自己評価を求め、それに対する本委員会としての評価を行った。評価は、実現度合いを以下の3段階で評価したうえで、意見を述べることとした。

- a. 順調である。
- b. 概ね順調である。
- c. 順調であるとみなせない。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症（以下、「コロナ」という。）が令和5年5月8日に「5類」に移行したことから各事業への影響はほとんどなく、コロナ前と同等の事業内容への回復が行われた。各事業のコロナの影響に関することは、必要に応じて記載することとした。

3. 総括

令和5年度の総括をするにあたり、足掛け4年にわたった新型コロナ感染症も第5類に移行し文化事業に対する制約も多く解除されたことは避けて通れない。平成30年度から6つの施策の柱の推進状況を軸に評価を行ってきたが、今年で6年目となり、また令和6年から新たに改定された計画に移ることから、令和5年度事業計画の評価はこの6年間の施策の柱の目標達成状況を振り返り総括としたい。

施策の柱の(1)「地域文化の担い手の育成」 アート便や地元高校との連携などホールの自主事業や、逗子アートフェスティバルを通しての若年層を中心とする地域文化の担い手の育成はほぼ達成できしており、また各種文化に関する講座も盛んである。子育てにはアートも重要である。

施策の柱(2)「市民文化活動の活性化」 逗子アートネットワークなど若年層を中心とする文化活動はこの間成長してきているが、幅広い年齢層例えば男性の中年層が少なく波及にはやや欠ける。また文化協会など幅広い市民の活動は、高齢化もあってやや停滞気味に思われる。また昨今リモートワークの拡充もあり、子育て世代の移住も多くみられる。若い世代を取り込んで、活性化に繋げてもらいたい。

施策の柱(3)「文化芸術に接する機会の拡充」 鑑賞機会・体験機会とも、共催も含めホールの自主事業は充実してきた。しかし指定管理も長い時間を経て落ち着いてきており、もっと多様なものに期待したい。これまで文化に触れる機会が少なかった人、例えば障がい者等へのアプローチも始まったが、今後更に強化する必要がある。

施策の柱(4)「文化資源の活用による地域づくり」 逗子の様々な文化資源の活用は、歴史的文化資源の整備など進みつつあるが、文化担当部署を軸に関係する他部署との連携は、情報共有などに留まっており、今後のより緊密な連携づくりが求められる。移住の進んできた子育て世代を取り込むなどの活動に加え元気な高齢者の活用など、市民も文化資源であるという考え方は重要である。

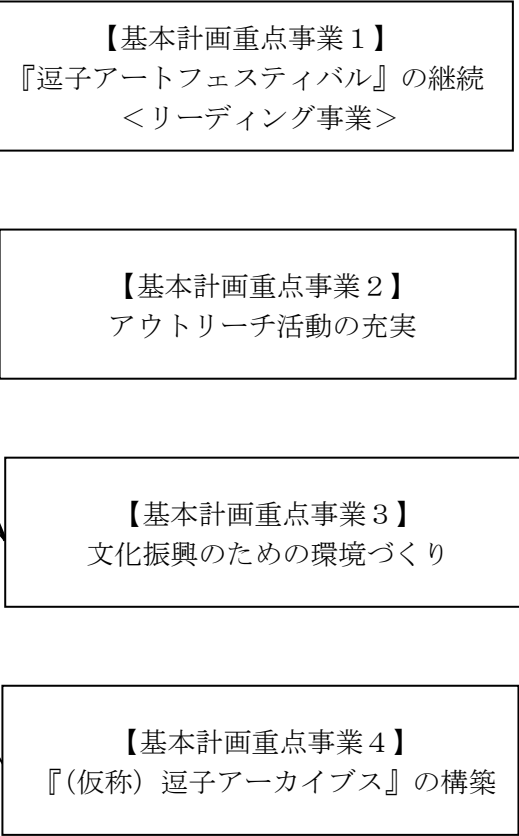
施策の柱(5)「文化情報の収集と活用」 新型コロナ感染問題もあり、オンラインの活用もあって新しい情報メディアの対応は進んだ。今後はそれらを活用し、ネットワーク化など、更に進めていくことが求められる。しかし同時に例えば他市ではフリーペーパーなどに文化の情報が掲載されており、こういった紙の情報は、自らが探しに行かなくても目に入りやすいことから、もっと活用されたい。

施策の柱(6)「文化振興のための環境づくり」 新型コロナ感染対策も含め緊急事態対策の面では大きな前進を示したが、築18年になる文化プラザの長寿命化や安全対策に努め、また行政の文化振興体制という面では、庁内や近隣市町との連携などまだまだ課題は残っている。「文化振興を市の行政の軸に」据える取り組みを是非してほしい。

4. 基本計画と対象事業との関係

6つの施策の柱と基本施策	
(1) 地域文化の担い手育成	①子どもたちの文化創造体験の拡充
	②市民のアトリテラシーの向上
	③地域文化振興の担い手育成
(2) 市民文化活動の活性化	①市民文化活動への支援の拡充
	②市民による市民のための文化振興の仕組みづくり
	③市民参画・協働型事業の充実
(3) 文化芸術に接する機会の拡充	①鑑賞機会の拡充
	②体験や参加、参画機会の充実
	③文化芸術に触れる機会の少ない人へのアプローチ
(4) 文化資源の活用による地域づくり	①逗子の歴史的資産、伝統文化の継承と発展
	②豊かな自然環境の活用
	③人的資源の発掘と連携
(5) 文化情報の収集と活用	①情報の収集・発信
	②情報のネットワークづくり
	③（仮称）逗子アーカイブスの構築
(6) 文化振興のための環境づくり	①行政の文化振興体制の明確化と連携体制の整備
	②施設・整備の充実など
	③近隣市町との交流・連携

対象事業等一覧		
文化スポーツ課の所管する事業等		各事業等に該当する 6つの施策の柱と基本施策
1 文化プラザホール維持管理事業		
	文化プラザホール指定管理	
	自主文化事業	(1) ①③ (2) ①③ (3) ①②③ (4) ③
	ホールの運営（貸館等）	(5) ①
	ホールの維持管理	(6) ②
2 文化プラザホール整備事業		
	工事、修繕	(6) ②
3 文化活動振興事業		
	文化振興基本計画策定・推進会議	(5) ③
	文化振興基本計画調査・評価委員会	
	逗子アートフェスティバル	(1) ②③ (2) ②③ (4) ③
	逗子市文化祭	(1) ③ (4) ①
他部課の所管する事業等		各事業等に該当する 6つの施策の柱と基本施策
スマイル講座（子育て支援課）		(1) ①
生涯学習講座事業（市民協働課）		(1) ② (3) ②
社会教育講座（社会教育課）		(1) ② (3) ② (6) ③
旧郷土資料館の活用について（緑政課）		(4) ① (6) ①
自然の回廊プロジェクト推進事業（経済観光課）		(4) ②
逗子フィルムコミッション（経済観光課）		(4) ②
共育ポータルサイトの運用（市民協働課）		(5) ②
逗子フォト事業（企画課）		(5) ③



5. 評価シート (前)は前年度(令和4年度)実績)

施策の柱	(1) 地域文化の担い手の育成
地域の文化は市民が継承し、創造し、発展させるものと捉え、担い手を育成するために、文化への理解・関心の向上と活動への参画を促し、地域文化振興に必要な専門知識を持った市民を増やす。特に、吸収力旺盛な青少年期における文化との接触による次世代の担い手育成を図る。	

個別計画での基本施策と令和5年度の事業概要	
① 子どもたちの文化創造体験の拡充	
目 標	○ 学校教育と連携しながら、子どもたちに対する芸術に触れる機会や文化・芸術教育を充実させます。 ○ 地域において多世代との交流を通じた、地域の文化体験など、地域生活における文化接触を豊かにしていきます。 ○ ホール自主文化事業において創造体験ができる機会を充実させます。
実 施 内 容	【ホール自主文化事業】 ● アート便 2023 (学校教育と連携し子どもたちが芸術に触れる機会を届けるアウトリーチ事業) 3メニュー(和太鼓、世界の音楽、落語)提供。市立小・中学校8校及び市立保育園1園、高齢者施設1施設、体験学習施設スマイルに対し授業数13件を実施。園児・児童・生徒など延べ1,630人参加。特に、新型コロナウイルスで訪問できていなかった高齢者施設に再びアウトリーチを届けることができたのが今年度の大きな成果であった。 前 3メニュー(落語、和太鼓、太神楽)提供。市立小・中学校8校及び市立保育園2園に対し授業数13件を実施。 園児・児童・生徒延べ1,374人参加。 ● 絵本作家山本祐司さんと一緒に絵本をつくろう 2023 こどものための手作り絵本講座 7月22日(土)、24日(月)、26日(水)、8月9日(水)2クラスで開催。 70人参加(うちオンライン10人参加)。 前 7月30日(土)、8月1日(月)、3日(水)、15日(月)2クラスで開催。 ● 逗子開成高等学校和太鼓部と共演による和太鼓グループ彩-sai-逗子公演 Vol. 5 1月20日(土)なぎさホールで開催。463人来場。逗子開成高等学校和太鼓部と共演した。共演に向けて和太鼓グループ彩-sai-による事前指導を7回実施し、プロの技術や演奏を直接学べる場を設けた。 前 329人来場。事前指導7回実施。 ● 講座 コンサートの作り方 6月10日(金)、17日(金)に県立逗子葉山高等学校1年生の総合的学習のワークショップの一つとして開催し、19人参加。ホール事業課担当と舞台技術担当者が講師を務めた。1日目はホールにおける公演制作や舞台についての講義を中心に行い、2日目は公演制作のワークショップを行った。 前 6月10日(金)、17日(金)に県立逗葉高等学校1年生の総合的学習のワークショップの一つとして開催し、28人参加。 ● トモイクフェスティバル 2024 共に学び共に育つ「共育(ともいく)のまち」の実現に向けて、市民交流センターとの共催で3月23日(土)・24日(日)開催。24日になぎさホールにて「逗子ライブ・インクルーシブ 2024」を開催するなど、ホール全体で2日間に合計8企画を実施した。 前 3クラス42人参加。 【逗子市文化協会によるスマイル講座】 ● 小学生から高校生を対象とした逗子市文化協会による講座(子育て支援課) 和楽器6回、ダンス10回、バレエ3回、茶道5回、アート5回を開催。 前 ダンス10回、バレエ3回、日本舞踊10回、茶道5回、美術7回を開催。 コロナ拡大防止のため、ダンス2回、美術3回中止。
② 市民のアートリテラシーの向上	
目 標	○ 逗子の伝統文化、歴史的資産はもとより、様々な文化に関する教養講座などを実施し、市民の文化に対する興味や知識を向上させます。 ○ 学ぶことと創造すること、市民協働を進めながら、生涯学習と文化振興を連携させ、幅広い視野や包容力ある人材を育みます。 ○ 団塊の世代が地域に戻り、地域文化活動に参画していけるような機会を設定していきます。

実施内容	【逗子アートフェスティバル（ZAF）^{ザフ} 2023 の開催】 ● 10月7日（土）～10月29日（日）で開催。全41企画（うち自由企画10企画、連携企画3企画）。企画者及び来場者数約15,374人（連携企画除く）。 ^前10月8日（土）～11月25日（金）で開催。全23企画（うち自由企画10企画、連携企画2企画）。企画者及び来場者数約9,234人（連携企画除く）。 ● ZAF2023は文化庁の文化芸術創造拠点形成事業に採択され、3年に一度のトリエンナーレとして規模を拡大して開催した。 ● 企画運営は「逗子アートネットワーク（ZAN）^{ザン}」のメンバーが中心となって行った。 ● 開催場所は従来の会場に旧逗子高等学校や逗子医療センターなどを新たに加え、企画・展示内容の多様化を図った。 ● 旧逗子高等学校を借用して展示を行ったことで、逗子葉山高等学校との連携を図ることができ、写真部が写真展企画を実施した。他にも横浜市立大学三浦半島研究会・逗子開成高等学校・聖和学院高等学校が企画や作品制作等で新たに加わる等、これまでほぼ見られなかった高校生・大学生との連携を図ることができた。 【市民による文化事業への後援、協力】 ● 共催1件、協力2、後援33件 合計36件 ^前共催2件、後援24件 合計26件 【文化に関する講座の実施】 ● 生涯学習講座事業9講座開催。参加者延べ250人。（市民交流センター主催事業（所管：市民協働課）） ^前生涯学習講座事業9講座開催。参加者延べ403人。（市民交流センター主催事業（所管：市民協働課）） ● 文化芸術関連の社会教育講座を7回開催。参加者延べ204人。 （1） 池子の森の植物観察会と植物標本作り （2） 泉鏡花の幻想文学について （3） 横須賀製鉄所創設 ～日本近代化の原点を探る～ （4） 出土したモノから知る池子の歴史 （5） サードエイジ連続講座 ① 逗子の地形・地質と安全を学びま専科「関東大震災から100年。逗子の各地区・地域を考察し、いざという時に備える」 ② 逗子の賑わいを振り返りま専科「逗子のまちとともに87年！その歴史、賑わいを谷山スタジオ親子が熱く語る」 ③ 映画で始まる地域づくりを楽しみま専科「地域循環をテーマに文化拠点・地域メディアづくりに活動するその思いとは何かを語る」 ^前文化芸術関連の社会教育講座を4回開催。参加者延べ106人。 ● 社会教育出張講座 文化芸術関連の趣味教養講座を4回開催 参加者延べ54人。 （1） あなたもエッセイスト （2） スキルアップ カメラ講座 （3） 大人の簡単！えんぴつ画教室 （4） ウクレレ教室 初級編 ^前3回開催 参加者延べ55人。 ● 近代美術館入門講座 県立近代美術館葉山と連携し、同館で開催される展覧会に関する講座を4回開催。参加者延べ90人。 （1） 生誕100年 傑作誕生・佐藤忠良 （2） 挑発関係 中平卓馬×森山大道 （3） 100年前の未来 移動するモダニズム1920－1930 （4） 芥川龍之介と美の世界 ^前4回開催 参加者延べ90人。
------	---

③ 地域文化振興の担い手育成	
目 標	○ 地域において、文化事業の企画や制作、運営を担ったり、専門知識や技能を発揮したり、ボランティアやサポーターで参画したり、地域文化を推進していく人材の育成に取り組みます。 ○ 青少年や若年層の活力を積極的に取り入れます。 ○ 市民、来訪者に関わらず、市内で文化活動を行う人々の参画と参加により、交流のなかで、文化活動を活性化します。
実 施 内 容	【逗子アートフェスティバル 2023 自由企画、ボランティア活動、逗子アートネットワークメンバーの活動】 ● 自由企画の公募を行い、10 企画が参加。 ● 逗子アートフェスティバル 2023 で新たに旧逗子高等学校を借用して展示を行ったことで、逗子葉山高等学校との連携を図ることができ、写真部が写真展企画を実施した。他にも横浜市立大学三浦半島研究会・逗子開成高等学校・聖和学院高等学校が企画や作品制作等で新たに加わる等、これまでほぼ見られなかった高校生・大学生との連携を図ることができた。 <u>前</u>自由企画 10 企画参加。

※新型コロナウイルス感染症の影響	【ホール】 ● コロナ 5 類感染症移行を受け、ガイドラインを撤廃し、コロナ以前と同様の開催形態で実施。
------------------	--

自己評価と見直すべき点	a. 順調である。 b. 概ね順調である。 c. 順調であるとみなせない。
	【自己評価】 アート便では、市立小・中学校及び市立保育園に例年同様継続実施できていることに加え、今年度はコロナ禍では訪問できていなかった高齢者施設に再びアウトリーチを届けることができた。 ZAF2023 は、コロナ禍の終焉及びトリエンナーレでの開催であったことから、参加企画数、来場者数とも前年比で大きく伸展した。企画数は、総合計画における 2029 年度（令和 11 年度）までの重要業績評価指標（KPI）30 企画を大きく上回る 41 企画となった。参加者についても高校生などの若い世代への広がりを見せ、事業の充実が図られている。前年度までのコロナ禍でも工夫し継続開催できたことで、将来に渡って持続可能な事業になりつつあると考える。 文化に関する講座は、16 講座、24 回開催。2029 年度（令和 11 年度）までの重要業績評価指標（KPI）である「現代的課題、地域課題、家庭教育で各 3 講座以上、合計 9 講座以上」を大きく上回る講座数となっている。 【見直すべき点】 アート便については、企画の継続性を重視するとともに幅広いジャンルの企画の拡充が求められる。 逗子アートフェスティバルは、更なる発展を目指し、今後はインターネットや SNS を利用しない人（特に高齢者）に向けた広報や企画の充実も必要と考える。

総合計画における位置づけと目標	【総合計画実施計画】 ● 具体的施策に「文化芸術活動の推進（継承と創出）」が定められており、進捗状況を検証する指標として重要業績評価指標（KPI）を設定し、2029 年度（令和 11 年度）までに「逗子アートフェスティバルの参加企画数が 30 企画になっている。」としている。また、次の 3 つを主な取り組みとして位置付けている。 - 主な取り組み① 逗子アートフェスティバルの充実 - 主な取り組み② 文化芸術活動の振興に係る事業の推進 - 主な取り組み③ 子どもを対象とした文化活動の振興に係る事業の推進（アウトリーチ活動等） ● 具体的施策に「学習機会の提供による社会教育の推進」が定められており、進捗状況を検証する指標として重要業績評価指標（KPI）を設定し、2029 年度（令和 11 年
-----------------	---

	度)までに「講座事業において、各分野(現代的課題、地域課題、家庭教育)3講座以上実施され、受講生の満足度が5段階評価のうち4以上が90%を超えている。」としている。また、次の4つを主な取り組みとして位置付けている。 主な取り組み① 各種講座事業の推進 主な取り組み② 家庭教育推進事業の充実 主な取り組み③ 読書活動の推進 主な取り組み④ 子どもの読書活動の推進
委員会の評価	a. 順調である。b. 概ね順調である。c. 順調であるとみなせない。 継続して次世代を担う子どもたちの文化創造体験の拡充が図られていることが評価される。特に学校教育と連携した「アート便 2023」は感性教育の推進を図る取り組みとして意義があり、高齢者施設へのアウトリーチが再開できたことも喜ばしい。また、講座を受講した児童が公演に会場するという例もみられ、「アート便からホールへ」という流れを作ることができたのは大きな成果である。 市民のアートリテラシー向上に関しては、市民による文化事業への協力等がやや増えており、またトリエンナーレ年ということもあった ZAF への参加も増えているが、生涯学習講座や社会教育講座、また県立近代美術館との連携講座等が中心になってきているのは(内容的には充実しているものの)、地域文化振興の担い手育成という点では課題も残る。 また逗子アートフェスティバル(ZAF)2023は、旧逗子高校や医療センターなどを新たに開催場所に加えトリエンナーレ年らしい工夫はしていて評価できる。また、初めて導入された、県立逗子葉山高等学校や横浜市立大学など、近隣の高校生・大学生との連携は、世代を超えた交流を促し、地域の活性化の観点からも、今後に期待したい。

施策の柱	(2) 市民文化活動の活性化
市民の文化活動は、心の豊かさや充足感を得るだけでなく、活力に満ちた社会や個性豊かな地域の形成など、様々な形で地域などにも還元されるものと捉え、市民個人や団体それぞれの活動を高め、広げるとともに、文化を通じた公益的な市民活動の支援を図る。	

個別計画での基本施策と令和5年度の事業概要	
① 市民文化活動への支援の拡充	
目 標	○ 市民に文化活動のための場と機会（時間）を提供し、市民と行政の役割を明確にした上で、市民文化活動の活性化のための協働を進めます。 ○ 文化活動をしていく上での相談や助言を行う仕組みや、支援や協働による活動の実現や拡大につながる仕組みを整えていきます。 ○ 文化事業の企画運営について、市民が専門的知識や技術の習得が可能となるよう支援します。 ○ 活動の目標や励みになる事業及び専門性をより高めていくための機会を設けるなど、支援を行います。
実 施 内 容	【ホール自主文化事業】 ● (再掲) 講座 コンサートの作り方 6月10日(金)、17日(金)に県立逗子葉山高等学校1年生の総合的学習のワークショップの一つとして開催し、19人参加。ホール事業課担当と舞台技術担当者が講師を務めた。1日目はホールにおける公演制作や舞台についての講義を中心に行い、2日目は公演制作のワークショップを行った。 前6月10日(金)、17日(金)に、県立逗葉高等学校1年生の総合的学習のワークショップの一つとして開催し、28人参加。 ● 【共催】市民交流センターフェア 2023 9月9日(土)の市民交流センターフェアにおいて、ホール共催で県立逗子葉山高等学校 吹奏楽部・軽音部発表会を行った。前述の「コンサートの作り方」に参加者のうち8名の生徒が、発表会の音響・照明を舞台技術スタッフとともに体験し、実際に機材を触り、本番もオペレーション体験をする貴重な体験につながった。 ● 【共催】逗子トモイクフェスティバル 2023 3月23日(土)、24日(日)開催のトモイクフェスティバルにおいて、ホールにて8企画を実施。「共に育つ」のコンセプトに合わせ、採用企画が決まった段階から市民団体と市民交流センターと協力し、運営・舞台技術の両面から企画者のバックアップを行った。特に、なぎさホールで開催された「逗子ライブ・インクルーシブ 2024」では、これまでZAF「みんなでアート」で培ってきた社会的包摂の事業推進、地域ネットワークが大きな形となった象徴的な公演であった。通常の共催をこえて、メディアパブ、地域メディア広報、社会的包摂を推進する近隣文化施設への広報など、積極的に広報支援を行った。
② 市民による市民のための文化振興の仕組みづくり	
目 標	○ 個人や既存の団体との連携を図りながら、プラットフォームとなる中間支援組織の育成や、文化NPOの支援などにも取り組みます。 ○ 市民自らが企画・参加し、地域文化を振興し、地域を活性化していく仕組みづくりを進めます。 ○ 世代間交流ができるような文化事業を実施します。
実 施 内 容	【逗子アートフェスティバル 2023 開催を目的とした逗子アートネットワークの活動】 ● 逗子アートフェスティバル 2023 の企画運営を行った逗子アートネットワークは、コアメンバーを中心に近年参加のメンバーとともにミーティングを頻繁に行い活動の幅を広げた。Facebook メンバーページ 92人参加。 前Facebook メンバーページ108人参加。 ● オンラインミーティングを活用し、逗子アートネットワーク全体でのミーティング 11回、その他にZAN共同代表によるミーティングや、各企画者・広報担当者によるミーティングを計55回行った。 前逗子アートネットワーク全体でのミーティング10回、その他に、ZAN共同代表によるミーティングや、各企画者・広報担当者によるミーティングを計28回行った。 ● 逗子アートネットワークの広報チームは、SNSやWebでの広報活動を積極的に行い、まちや人の魅力を市内外に広く発信することで、逗子アートフェスティバルをきっかけに来訪者を増やすことを目標とした。

③ 市民参画・協働型事業の充実	
目 標	○ 事業の企画案、運営スタッフの市民公募などにより、市民参画・参加を促進します。 ○ 市民の企画力、運営力をより一層高めていく支援を行います。 ○ 市民主導型のホール自主文化事業を積極的に実施し、事業の充実を図ります。
実 施 内 容	【逗子アートフェスティバルの継続、逗子アートネットワークのメンバーの新規募集】 ● 逗子アートフェスティバル 2023 を開催（（1）②参照）。平成 25 年度（2013 年）のプレアートフェスティバルから 11 回目の開催となった。 ● （（2）②再掲）逗子アートフェスティバル 2023 の企画運営を行った逗子アートネットワークは、コアメンバーを中心に近年参加のメンバーとともにミーティングを頻繁に行い活動の幅を広げた。Facebook メンバーページ 92 人参加。 前 Facebook メンバーページ 108 人参加。 【トモイクフェスティバル】 ● 市民交流センター主催で、3 月 23 日（土）、24 日（日）開催。延べ 3,500 人来場。 前 市民交流センター主催で、3 月 25 日（土）、26 日（日）開催。延べ 1,800 人来場。

※新型コロナウイルス感染症の影響	【ホール】 ● コロナ 5 類感染症移行を受け、ガイドラインを撤廃し、コロナ以前と同様の開催形態で実施。
------------------	--

自己評価と見直すべき点	a. 順調である。 b. 概ね順調である。 c. 順調であるとみなせない。
	【自己評価】 ホール自主文化事業は、新型コロナウイルスが 5 類感染症に移行されたことを機にスムーズにアフターコロナへの移行がなされた。 「講座 コンサートの作り方」を受講した生徒が交流センターフェアの高校軽音楽部、吹奏楽部の公演の音響・照明を担当するなど、プロとの協働による連続性のある文化創造体験をすることができた。 また、市民交流センターフェア、トモイクフェスティバル、逗子アートフェスティバルに積極的に運営・舞台技術面から市民活動支援をすることで、市民の文化活動の場を提供し、ホールとしても事業内容に広がりを持たせることができた。 【見直すべき点】 ホール自主文化事業は、企画の継続性を重視するとともに幅広いジャンルの企画や更なる協働型事業の拡充が求められる。

委員会の評価	a. 順調である。 b. 概ね順調である。 c. 順調であるとみなせない。
	市民文化活動への支援については、市民交流センターフェアやトモイクフェスティバルへのホールによる共催と運営支援など評価したい。特に逗子葉山高等学校の総合的学習の一環として実施された講座「コンサートの作り方」は、制作ワークショップでの成果を「市民交流センターフェア 2023（県立逗子葉山高等学校 軽音楽部・吹奏楽部発表会）」において発揮し、舞台美術のプロと協働し実体験する貴重な機会も得た。地域の青少年の文化創造活動を支援する事業として、今後も継続されることを期待する。 また逗子アートフェスティバル（ZAF）も 10 年たち、市民主体の運営を担う逗子アートネットワーク（ZAN）の活動も定着し、トモイクフェスティバルにも協力するなど、これからの市民文化活動の活性化に向けて重要な役割を果たしていくことが期待できる。

施策の柱	(3) 文化芸術に接する機会の拡充
条例で定める、文化芸術を創造し、享受することは市民の権利であることを実現するため、すべての市民が文化芸術に触れることのできる機会を提供するように努める。特に、文化事業を企画したり、運営に参画したり、支援する機会や、文化芸術に触れることが困難な市民が気軽に接する機会の拡充を図る。	

個別計画での基本施策と令和5年度の事業概要	
① 鑑賞機会の拡充	
目 標	○ 市民ニーズにあった多彩な鑑賞型事業を実施します。 ○ 市民の企画による事業を募集、協働にて実施します。
実 施 内 容	【ホールによる鑑賞機会の拡充】 ● 鑑賞型事業を8件実施。ジャンル別内訳は、音楽関係5件、古典芸能2件、演劇1件。平均満足度は85.1%。 ・ 7月 3日 (月) 【共催】第16回なぎさブラスゾリスTENコンサート ・ 7月 8日 (土) LEO 箏リサイタル 2023 -GRID//OFF- ・ 7月 15日 (土) 逗子落語会 桂宮治・蝶花楼桃花 二人会 ・ 9月 10日 (日) 青島広志のおしゃべりコンサート ・ 12月 3日 (日) 細川千尋ピアノ・トリオ JAZZ LIVE Seasons of Love〜Broadway Jazz ・ 2月 17日 (土) 【さざなみ亭落語会】三遊亭わん丈&みんなで創る落語会 其の七 ・ 2月 28日 (土) KAAT カナガワ・ツアー・プロジェクト 2023 「箱根山の美女と野獣」「三浦半島の人魚姫」 ・ 3月 20日 (水) 宮田大×山崎祐介 スペシャル・デュオ〜チェロとハープによる美しい音色〜 ● 鑑賞型事業を6件実施。ジャンル別内訳は、音楽関係4件、伝統文化・古典芸能2件。平均満足度は84.3%。 ● 図書館連携事業「おはなし会」 11月 16日 (木) 開催。2〜3歳の子どもと保護者対象の「おひぎにだっこのおはなし会」と、4〜6歳の子ども対象の「わんぱくおはなし会」の中で、おとなのための手作り絵本講座の完成作品をそれぞれ1冊ずつ読み聞かせした。 前1月 19日 (木) 開催。2〜3歳の子どもと保護者対象の「おひぎにだっこのおはなし会」と、4〜6歳の子ども対象の「わんぱくおはなし会」実施。
② 体験や参加、参画機会の充実	
目 標	○ ホールにおいて、鑑賞型事業の実施に合わせ、そのテーマに沿った各種講座やワークショップを実施します。 ○ 市内公共施設などにおいて、各種講座事業を実施します。
実 施 内 容	【ホール自主文化事業】 ● 共催 「KAAT キッズ・プログラム 2023 さいごの1つ前」事前ワークショップ 「作品の1シーンを一緒につくろう！無料創作ワークショップ」をギャラリーにて開催。作中に登場する『楽しい地獄の絵』を制作した(6名参加)。アイスブレイクなどを交えながら、「楽しい地獄」のイメージを膨らませ、思い思いの「楽しい地獄」の世界を大きな模造紙いっぱいにより創り上げていた。完成した作品は、8月6日の公演演出として披露された。 ● 【共催】逗子次世代育成プロジェクト Vol. 4 「和太鼓×篠笛 Session Live」 公演前には、和太鼓奏者の葛西氏による「和太鼓ワークショップ」を開催し、9人の参加があり、和太鼓の歴史等も交えながら、太鼓のたたき方のレクチャーを行った。 ● みんなでアート 2023 事前ワークショップ 後述するみんなでアート 2023 の事前ワークショップ企画として、年間を通して3回の関連ワークショップを実施。ファッションショーイベントで、実際に参加者が着るドレスを、古着からリメイクして一緒に作成するなど、ギャラリーオープンスペースを活用して通りすがりの方も参加できるコーナーを設け、より誰でも過程を楽しめる連携企画となった。 【逗子アートフェスティバル 2023】 ● ((1) ③一部再掲) 自由企画の公募を行い、10企画が参加。 前自由企画10企画参加。 ● 東逗子駅駅舎や小坪大谷戸会館で、作品の一部を制作する参加型ワークショップを開催。

	【その他】 ● 各種講座の実施（（１）②参照）。
③ 文化芸術に触れる機会の少ない人へのアプローチ	
目 標	○ 自主文化事業の内容に合わせて対象や方法を工夫しながら、PR 活動を行います。 ○ 自主文化事業の実施場所をホールに限定せず、積極的にアウトリーチ事業として実施することにより、ホールに来館できない方へも文化・芸術を広めていきます。
実 施 内 容	【ホール自主文化事業】 ● 共催 「KAAT キッズ・プログラム 2023 さいごの 1 つ前」 神奈川芸術劇場と共催で開催。観客に拍手や足踏みなどを求める演出もあり、出演者と観客に一体感が生まれていた。観客から不意に言葉が投げかけられた場面では、舞台上の出演者も観客とのやりとりを楽しんでいる様子だった。親子や友だち同士で感想を話しながら、会場を後にする来場者が多く、物語の魅力に引き込まれた様子が伺えた。 ● 【共催】 みんなでアート 2023 障がいのあるなしや年齢等の垣根なく交じり合う「みんなでアート 2023」を開催した。今年度は 3 回の事前ワークショップを重ねてギャラリーで発表した「みんなでアート展示」や、フェスティバルパークにて、ファッションショーなどの催物も開催された。ホールの中での開催から、プラザ全体を使って開かれた開催形態となり、より障がいのある人もない人も、おとなも子どもも混ざり合う、文化プラザらしいインクルーシブな催事となった。 ● 「0 才からのコンサート ビバ！！パーカッション」 ファミリー向けの 0 才から入場できるファミリー公演を 12 月 16 日（土）なぎさホールで開催。マリンバ、ヴィブラフォン、スネアドラム、トライアングルなどの打楽器とピアノによる生の音楽を目で見て体で感じるコンサートで、公演日には多くの赤ちゃん連れの親子 327 名が来場。

※新型コロナウイルス感染症の影響	特になし
------------------	------

自己評価と見直すべき点	a. 順調である。 b. 概ね順調である。 c. 順調であるとみなせない。
	【自己評価】 神奈川芸術劇場（KAAT）と共催でのイベント開催はホール初であり、一般向けの演劇公演とキッズも対象としたプログラムの 2 件の公演が実施された。 神奈川芸術劇場（KAAT）と共催することで、単独施設では事業政策面・採算面からも実施が難しい演劇公演を開催できた。 キッズも対象としたプログラムでは、公演に向けて創作ワークショップが開催され、劇中で使われる「楽しい地獄の絵」が製作され公演の演出として披露されることで文化芸術への参画機会を提供することができた。
	【見直すべき点】 文化芸術に触れる機会の少ない人々（高齢者、障がい者、子ども、子育て層など）へ向けた企画の充実と鑑賞機会の更なる拡充が求められる。

総合計画における位置づけと目標	【総合計画実施計画】 ● 具体的施策に「文化芸術活動の推進（継承と創出）」が定められており、進捗状況を検証する指標として重要業績評価指標（KPI）を設定し、2029 年度（令和 11 年度）までに「逗子アートフェスティバルの参加企画数が 30 企画になっている。」としている。また、次の 3 つを主な取り組みとして位置付けている。 主な取り組み① 逗子アートフェスティバルの充実 主な取り組み② 文化芸術活動の振興に係る事業の推進 主な取り組み③ 子どもを対象とした文化活動の振興に係る事業の推進（アウトリーチ活動等）
-----------------	---

委員会の評価	a. 順調である。 b. 概ね順調である。 c. 順調であるとみなせない。 鑑賞機会の充実では、音楽、古典芸能、演劇と、バラエティも豊かであり、また神奈川芸術劇場（KAAT）との共催により、単独では採算的に難しい事業が実施されるなど、鑑賞機会の拡充や体験型プログラムの充実のために新たな取り組みがなされていることの意義は大きい。 体験や参加機会においても、多彩な共催事業、特に「みんなでアート」や「0歳からのコンサート」など文化に触れる機会の少ない人へのアプローチもなされ、ユニークで良い企画であり評価したい。誰もが等しく交じり合う「みんなでアート 2023」には福祉の域を越えた文化芸術の可能性を窺わせる。今後も様々な文化芸術活動に接する機会の少ない人たちへの機会の提供、参画機会・広報等の充実を期待する。
--------	---

施策の柱	(4) 文化資源の活用による地域づくり
市内に存在する様々な歴史的資産や伝統文化、青い海や緑豊かな自然環境といった環境、逗子ゆかりの作家や芸術家、各分野の専門性や学識経験を持った市民をはじめとする全ての市民を逗子の文化資源と捉え、逗子の持つ文化の力を発揮して、個性と活力ある地域づくりを進めていく。	

個別計画での基本施策と令和5年度の事業概要	
① 逗子の歴史的資産、伝統文化の継承と発展	
目 標	○ 市内に残る伝統文化などの継承を支援します。 ○ 継承すべき文化の中から、どのように継承するかなど、協働により検証していきます。
実 施 内 容	● 旧脇村邸について、地元ボランティアグループによる定期的な維持管理を実施するとともに、NPO 団体主催の湘南邸園文化祭企画及び市主催による限定公開を計2回実施した。(緑政課) ● 長柄桜山古墳群第一号墳の整備に合わせ、旧脇村邸、旧郷土資料館等を含む蘆花記念公園全体の再整備のためのランドデザイン策定に向けて検討を開始した。(まちづくり景観課、緑政課) 前・旧脇村邸について、地元ボランティアグループによる定期的な維持管理を実施するとともに、NPO 団体主催による湘南邸園文化祭企画として限定公開を実施した。(緑政課) ● 延命寺の仏涅槃図を市の重要文化財に指定した。(社会教育課) 前・旧本多家住宅主屋1棟(山の根2丁目)が国の文化財登録原簿に登録された。(社会教育課)
② 豊かな自然環境の活用	
目 標	○ 逗子の自然環境についての学習・保全・啓発につながる文化活動を推進します。 ○ 様々な映像作品のロケ地として利用される逗子を、より一層発信していくため、フィルムコミッション事業やロケ地観光などを促進していきます。 ○ 自然環境を活かした文化活動を推進します。
実 施 内 容	【自然の回廊プロジェクト推進事業(経済観光課)】 ● 市の形をした大型マップ「自然の回廊 イルカマップ」を作成し、市体験学習施設での展示を開始した。 ● 観光協会と協働し、歴史的観点から見た自然の回廊ハイキングイベント(「逗子の歴史めぐり～泉鏡花ゆかりの地を巡る旅～」)を実施し、新たな側面としての魅力を発信し、観光協会ホームページでモデルコースとして紹介した。 ● 今後の説明板の設置を検討し、リスト化してまとめることができた。 【逗子フィルムコミッション(経済観光課)】 ● 撮影問合せ件数216件、市内での撮影件数87件。エキストラ登録人数(R5時点)157人。卒業論文対応1件。ロケツーリズムに対するアンケート1件。ロケーションジャパン大賞ノミネート地域に選出。 前・撮影問合せ件数205件、市内での撮影件数70件。エキストラ登録人数157人。卒業論文対応1件。
③ 人的資源の発掘と連携	
目 標	○ 地域に根ざした様々な分野のアーティストや専門家を発掘します。 ○ 様々な人的資源をつなぐネットワークづくりを進めます。
実 施 内 容	【((2) ②再掲) 逗子アートフェスティバル2023 開催を目的とした逗子アートネットワークの活動】 ● 逗子アートフェスティバル2023の企画運営を行った逗子アートネットワークは、コアメンバーを中心に近年参加のメンバーとともにミーティングを頻繁に行い活動の幅を広げた。Facebook メンバーページ92人参加。 前・Facebook メンバーページ108人参加。 ● オンラインミーティングを活用し、逗子アートネットワーク全体でのミーティング11回、その他にZAN 共同代表によるミーティングや、各企画者・広報担当者によるミーティングを計55回行った。 前・逗子アートネットワーク全体でのミーティング10回、その他に、ZAN 共同代表によるミーティングや、各企画者・広報担当者によるミーティングを計28回行った。 ● 逗子アートネットワークの広報チームは、SNS や Web での広報活動を積極的に行い、まちや人の魅力を市内外に広く発信することで、逗子アートフェスティバルをきっかけに来訪者を増やすことを目標とした。

	【ホール】 ● 逗子アートフェスティバル 2023 ホール共催事業（Bowline プロジェクト主催）として「みんなでアート 2023」を開催した。 10月21日は、さざなみホールにて「タップダンスワークショップ」、「シリウ氏によるマジック」、「塚原広介氏によるピアノコンサート」、「バンドダンスユニット I am I によるダンスパフォーマンス」、「ダンスパーティー」など多彩な催物が開催されたともに、フェスティバルパークにて、ファッションショーなどの催物も開催された。 22日は、さざなみホールにて「映画上映（ゆうやけ子どもクラブ!）」、「lutaku 氏によるピアノコンサート」、「Tipoo 氏による VR ライブパフォーマンスと VR お絵描き体験」の催物が開催された。 全ての催物において、障がいのある方、ない方、こどもからおとなまで、誰もが混ざり合い楽しんでいる姿が印象的だった。今後も、今回のようなイベントを通して、障がいや病気の有無、年齢や性別に関係なく、混ざり合い、一緒に楽しむことができる催物、環境づくりの一助を目指していく。 前 ホール共催事業を全2企画開催した。 ● 共催 「逗子次世代育成プロジェクト Vol.4 和太鼓×篠笛 Session Live」 今年で4回目の開催となる逗子次世代育成プロジェクトとして「和太鼓×篠笛の Session Live」を開催した。公演前には「和太鼓ワークショップ」も実施し、9名の参加があった。「和太鼓ワークショップ」は、出演者3名が講師を務め、構えやバチの持ち方などのレクチャーを行った。普段、地域のお囃子保存会で太鼓を叩いているという参加者も多数おり、休憩中も和太鼓のことや篠笛の種類などを熱心に質問する姿が見られた。 ● 華麗なる双子 山田姉妹ソプラノデュオコンサート ふたりで紡ぐ、やすらぎのハーモニー ～ 市内出身で逗子市広報大使でもある、ソプラノデュオの山田姉妹による「山田姉妹ソプラノデュオコンサート」を開催。市民や近隣市町村だけでなく、他県からの山田姉妹ファンも多く来場された。また、来場者の年齢の幅広さから、クラシックから童謡まで様々なジャンルを歌いこなす山田姉妹の支持の高さを改めて感じさせられる公演となった。 前 「山田姉妹ソプラノデュオコンサート～ふたりで紡ぐ、やすらぎのハーモニー～」開催。487人来場。 ● 絵本作家 山本祐司さんと一緒に絵本をつくろう 2023 こどものための手作り絵本講座 逗子市在住の絵本作家による手作り絵本講座を実施した。 ● 逗子開成高等学校和太鼓部と共演による和太鼓グループ彩-sai-逗子公演 Vol.5 逗子開成高等学校和太鼓部と共演した。共演に向けて和太鼓グループ彩-sai-による事前指導を7回実施し、プロの技術や演奏を直接学べる場を設けた。
※新型コロナウイルス感染症の影響	コロナ5類感染症移行を受け、コロナ前と同様の開催を実施。

自己評価と見直すべき点	a. 順調である。 b. 概ね順調である。 c. 順調であるとみなせない。 【自己評価】 長柄桜山古墳群第一号墳の整備に合わせ、旧脇村邸、旧郷土資料館等を含む蘆花記念公園全体の再整備のためのランドデザイン策定に向け検討を開始した。 市の形をした大型マップ「自然の回廊 イルカマップ」を作成し、市体験学習施設での展示を開始した。 市指定文化財の数は、基本計画における2029年度（令和11年度）までの重要業績評価指標（KPI）である「市指定文化財の数が24件に増加している。」に対し、22件であり、順調に進捗している。 自然の回廊プロジェクトは、2029年度（令和11年度）までの重要業績評価指標（KPI）である「自然の回廊を活用したイベントを複数回支援している。」に対し、支援回数0件であり、2029年度に向け回数増加に努める。 地域で活躍、ゆかりのあるアーティストとである山田姉妹のコンサートを実施するとともにこのコンサートのために公募し、集まった小学生から年配者20名で市民合唱団「なぎさ合唱団」を結成。コンサートに向け自主練習を積んだ上で山田姉妹と共演し、3曲
-------------	---

	を熱唱した。 平成から続いている逗子市在住の絵本作家による「手作り絵本講座」は、今年度から山本祐司さんを講師に迎え例年通り継続開催した。 【見直すべき点】 地域に根差したアーティストの公演は、今回の市民合唱団公募のような工夫を施し、参加型企画も含めより多くの集客に結び付けられるよう検討する。
総合計画における位置づけと目標	【総合計画実施計画】 ● 具体的施策に「文化財保護の推進」が定められており、進捗状況を検証する指標として重要業績評価指標（KPI）を設定し、2029年度（令和11年度）までに「市指定文化財の数が24件に増加している。」としている。また、次の3つを主な取り組みとして位置付けている。 - 主な取り組み① 文化財の展示活用の推進 - 主な取り組み② 史跡の公開活用 - 主な取り組み③ 未指定文化財の調査 (文化財の新規指定及び積極的な公開活用) ● 具体的施策に「自然の回廊の保全と活用」が定められており、進捗状況を検証する指標として重要業績評価指標（KPI）を設定し、2029年度（令和11年度）までに「自然の回廊を活用したイベントを複数回支援している。」としている。また、次の2つを主な取り組みとして位置付けている。 - 主な取り組み① 自然の回廊のプロジェクト事業の推進 - 主な取り組み② みどりに親しむ環境づくりの推進
委員会の評価	a. 順調である。 b. 概ね順調である。 c. 順調であるとみなせない。 文化資産の活用という面では、ようやくながら旧脇村邸、旧郷土資料館等を含む蘆花記念公園全体の再整備のためのグランドデザイン策定に向け検討が始まり、徐々に進展しているように思われる。 人的資源の発掘と連携では、逗子アートネットワークの活動の活発化やホール主催・共催事業として山田姉妹など逗子出身のアーティスト等と公演や、絵本作家山本祐司の絵本講座、また逗子開成高校との連携など多様な取り組みが積極的に展開されていることを評価したい。市民もまた文化資源であるという考え方は大切である。

施策の柱	(5) 文化情報の収集と活用
情報による文化の活性化を目指し、市民だれでもが容易に市内・市外の文化情報を手に入れることができるような情報流通の仕組みを構築し、新しい情報メディアへの対応を図る。また、逗子の文化資源に関する情報として、文字情報だけでなく映像や音源などを集積して、活用できる仕組みを検討する。	

個別計画での基本施策と令和5年度の事業概要	
① 情報の収集・発信	
目 標	○ 他市の文化施設での催しなどの情報をホール及び市民交流センターでも手軽に取得できるよう情報の収集に努めます。 ○ 各メディアに積極的に情報発信を行います。 ○ 新しいメディアを活用した情報提供の検討を行います。
実 施 内 容	【ホール】 ● ホール&ギャラリーニュース 年間4回、各10万2千部発行。広報ずしと併せて市内全戸配布。近隣市町（横浜市、横須賀市、鎌倉市、葉山町の一部）へは、新聞折込により配布。また、サポート会26ヶ所、近隣他館111館等に持参や郵送で配架を依頼。 <u>前</u>年間3回、各10万5千部発行。広報ずしと併せて市内全戸配布。近隣市町（横浜市、横須賀市、鎌倉市、葉山町の一部）へは、新聞折込により配布。また、サポート会27ヶ所、他館107館等に持参や郵送で配架を依頼。 ● イベントカレンダー 施設ご利用者様のホール・ギャラリー催物情報を集約し、月ごとに発行するイベントカレンダーを毎月発行し、市内公共施設を中心に配架している。ホール&ギャラリーニュースを近隣他館111施設に配布する際には同時配布し、近隣施設への情報周知も行っている。 ● ホール SNS (Facebook、Twitter、Instagram) 情報発信 ショートムービーを活用した他の SNS との連携として、公演出演者のコメントやインタビュー動画を YouTube にアップロードし、Instagram のストーリーズ YouTube アップの投稿を行い連携周知を行った。 ● 舞台芸術メディアや専門メディアでの情報発信 情報掲載用アプリ（チラシクラシック、チラシステージ、チラシミュージアム）や、情報サイト（ぶらあぼ online）、親子向け情報サイト（いこーよ）に公演情報やチラシを掲載したほか、今年度新たに落語専門チャンネル（日本で唯一の寄席演芸専門情報誌「東京かわら版」、落語系情報サイト「噺-HANASHI」、落語会情報）へ掲載し、情報発信を強化した。 ● 市外全域を対象にしたパブリシティでの情報発信 読売新聞・朝日新聞など全国紙、神奈川新聞・鎌倉朝日など地方紙、タウンニュース・J:COM チャンネルなどローカルメディア、湘南ビーチ FM（ラジオ局）を通して市外全域を対象にしたメディアパブリシティを行った。2月に開催された「不屈の夏」逗子上映講演会においては、主要新聞・テレビ露出 644 万部、1,187 万世帯と、指定管理第一期・第二期 10 年間で最も大きなパブリシティ実績となった。 ● その他、市内各種媒体での情報発信 広報ずし、子育てわくわくメールマガジン、ナニスル、マグカルカレンダー（県情報誌）、イベントバンク（情報配信サイト）、「逗子・葉山に暮らす子育て世代のサイト『海山時間』」、逗子・葉山 WEB、mamamoana 等で、自主文化事業の情報発信を行った。新しいローカルメディア3媒体を発掘し、日々情報発信につとめている。 また、市役所のホール用ラック、市内掲示板、PR-BOX、交流センターラックを活用して情報発信した。 ● 近隣他館との連携 近隣他館・都内他館を中心に 111 館と連携し、催し物や情報誌を相互配架した。他館開催催事の当施設内情報発信は 799 件となり、過去最多となった。 ● ホールキャンパス ホールエントランスのガラス面を使った瓦版として展開し、ホールに関する情報発信を行った。 ● ホールホームページのリニューアル 新しく「逗子文化プラザホールとは」と「情報発信ボランティアライターによるイベントレポート」の特設ページを作成し公開した。運営理念、文化振興の取り組み、特徴的な取り組み等を実際の公演写真と

	ともに掲載することで、文化振興基本計画、ホールが果たす役割を、逗子市の文化創造拠点として対外的に発信した。
② 情報のネットワークづくり	
目標	○ 国際的な文化交流なども視野に入れ、近隣市町などの公共ホール、劇場、美術館、アートイベントなどとの連携を模索します。 ○ 市内の文化活動団体の交流支援をしていきます。
実施内容	【情報のネットワーク】 ● 共育ポータルサイト「ナニスル」を引き続き運用。令和6年3月31日現在参加団体数 339 件。（市民協働課） ● 世代間交流を促す共育の講座やイベントへの参加者数は、令和6年3月31日現在 5,354 人。（市民協働課） 前 令和5年3月27日現在参加団体数 656 件。 【（一部（1）②再掲）市民による文化事業への後援、協力】 ● 共催・協力・後援に伴い、市内広報板へのチラシ掲出を行い、事業の周知を図った。 共催 1 件、協力 2、後援 33 件 合計 36 件 前 協力 2 件、後援 24 件 合計 26 件
③ （仮称）逗子アーカイブスの構築	
目標	○ 点在する文化資源情報の収集・整理を進めるための基盤づくり（収集・整理に必要な知識や情報の蓄積など）を、市民と協働で行います。 ○ 文化資源情報の収集・整理の方法について検討します。 ○ 文化資源情報を整理し、将来的にはデジタル化、アーカイブ化により、市民が活用しやすい環境づくりにつなげます。
実施内容	【逗子フォト事業（企画課）】 ● 市ホームページでの写真公開枚数は、令和6年4月10日現在 1,555 枚。市ホームページリニューアルに伴い、公開する写真を整理した。 前 令和5年5月1日現在 1,554 枚。

※新型コロナウイルス感染症の影響	● コロナ期間中は、ホール&ギャラリーニュースの発行回数減（年4回→3回）と紙面の見直しを行っていたが、今年度より年4回発行に復活している。
------------------	--

自己評価と見直すべき点	a. 順調である。 b. 概ね順調である。 c. 順調であるとみなせない。
	【自己評価】 ホールのホームページをリニューアルし、ホールの運営理念や「逗子市文化振興基本計画（2024年3月改定版）」の案内することで、逗子市の文化振興の基本理念の情報発信を行った。また、「情報発信ボランティアライターによるイベントレポート」の特設ページも作成し、2015年からのイベントの内容が簡単に確認できるようになった。 世代間交流を促す共育の講座やイベントへの参加者数は、新型コロナウイルス感染症5類移行により回復傾向にあり、総合計画における2029年度（令和11年度）までの重要業績評価指標（KPI）「世代間交流を促す共育の講座やイベントへの参加者数が5,000人を超えている。」に対し、5,354人と順調である。 【見直すべき点】 共育ポータルサイト「ナニスル」の参加団体数は339件と団体会員高齢化等により昨年の656件から大きく減少し、重要業績評価指標（KPI）「市内で活動する生涯学習団体の総数が400を超えている。」を下回っており、2029年度に向け計画的な団体数増加に取り組む必要がある。

総合計画における位置づけと目標	【総合計画実施計画】 ● 具体的施策に「生涯を通じた学習活動の支援」が定められており、進捗状況を検証する指標として重要業績評価指標（KPI）を設定し、2029年度（令和11年度）までに「市内で活動する生涯学習団体の総数が400を超えている。」としている。また、次の3つを主な取り組みとして位置付けている。 - 主な取り組み① 生涯学習活動の情報の提供 (ライフステージや学習要求に応じた学習機会の提供) - 主な取り組み② 生涯学習活動の場の提供 - 主な取り組み③ 図書資料の充実 ● 具体的施策に「地域で子どもと大人が共に育つ学習環境の整備」が定められており、進捗状況を検証する指標として重要業績評価指標（KPI）を設定し、2029年度（令和11年度）までに「世代間交流を促す共育の講座やイベントへの参加者数が5,000人を超えている。」としている。また、次の2つを主な取り組みとして位置付けている。 - 主な取り組み① 共育活動の推進 - 主な取り組み② 共育のイベントの開催
-----------------	--

委員会の評価	a. 順調である。 b. 概ね順調である。 c. 順調であるとみなせない。 市民がいつでも容易に市内、近隣の文化情報を入手できる環境を整備することは重要であり、充実した豊かな暮らしを望む市民へのサービスとしてデジタル技術を駆使した情報の収集と活用は大いに有効である。今回、チラシ掲載アプリの活用やYouTubeチャンネルの開設等、新たな手段・手法を取り入れて市民がいつでも容易に市内、近隣の文化情報を入手できる環境を整備したことは重要であり、評価できる。 ホールでは、市内向けだけに留まらず、ホームページのリニューアルにより情報ネットワークの構築を強化し、SNSや新聞など多様なメディアを通してのパブリシティ活動を積極的に行うなど、市内外への情報発信に努めている。懸案の（仮称）逗子アーカイブは逗子フォト事業の写真公開に留まっており、文化資源の情報収集・整理・保管等について、新たな観点からの実現可能な事業が企画されることを期待する。
--------	---

施策の柱		(6) 文化振興のための環境づくり
近隣市町などとの連携を視野に入れ、行政における推進体制の整備を行うとともに、ホールをはじめとする既存の施設の維持管理に努め、市民による自主的かつ主体的な文化活動が行える環境づくりを目指す。		
個別計画での基本施策と令和5年度の事業概要		
① 行政の文化振興体制の明確化と連携体制の整備		
目標	○ 文化振興所管課を中心として、関係部署との協力・連携を強化します。 ○ 文化を軸とした、行政の一体的、組織横断的な推進体制の確立を目指します。	
実施内容	【ホール】 ● 指定管理者に対するモニタリングを毎月実施。(文化スポーツ課) 【((4) ①再掲) その他】 ● 旧脇村邸について、地元ボランティアグループによる定期的な維持管理を実施するとともに、NPO 団体主催の湘南邸園文化祭企画及び市主催による限定公開を計2回実施した。(緑政課) ● 長柄桜山古墳群第一号墳の整備に合わせ、旧脇村邸、旧郷土資料館等を含む蘆花記念公園全体の再整備のためのランドデザイン策定に向けて検討を開始した。(まちづくり景観課、緑政課) 前・旧脇村邸について、地元ボランティアグループによる定期的な維持管理を実施するとともに、NPO 団体主催による湘南邸園文化祭企画として限定公開を実施した。(緑政課) ● 延命寺の仏涅槃図を市の重要文化財に指定した。(社会教育課) 前・旧本多家住宅主屋1棟(山の根2丁目)が国の文化財登録原簿に登録された。(社会教育課)	
② 施設・設備の充実など		
目標	○ ホールの管理運営について、多くの市民の意見を取り入れながら、改善を図ります。 ○ バリアフリーやユニバーサルデザインなど、誰もが利用しやすい環境づくりのため、施設や設備の計画的な修繕・改修に努めます。 ○ まちなかに点在する空きスペースや休眠中の市の施設などの情報収集・発信に努めます。	
実施内容	【ホール】 ● ホールの維持管理にかかる工事10件、委託1件を実施。(文化スポーツ課) (コージェネレーション設備三元触媒更新工事、同設備更新工事、なぎさ・さざなみホールボーダーケーブル更新工事、さざなみホール2階調整室空調機更新工事、整流器部品・蓄電池更新工事、ITV 設備更新工事、なぎさ・さざなみホール舞台ワイヤロープ交換工事、自動制御機器更新工事、駐車場監視盤タッチパネル更新工事、舞台袖調整卓更新工事、なぎさホールスタインウェイピアノオーバーホール業務委託。) ● 工事等(委託1件を含む。)11件の実施にあたっては、ホール指定管理者として、事前の工事調整、現地調査立会、仕様書・発注書作成支援、工程書確認、確認技術支援、当日立会など、市・事業者と綿密に打ち合わせを重ね、工事完了まで支援を実施した。 ● 竣工19年目となる令和6年度に予定される全13件の改修工事等に向けて中長期修繕計画の立案を市と協議進行した。予防管理・危機管理に重点を置き、危険箇所の再抽出、メーカー調整、優先順位検討を行い、修繕計画支援を行った。 ● 竣工20年を目前に、駐車場表示システムの故障、市民交流センター照明設備故障、舞台フロアモニター6台中3台故障、塩害によるベランダ手すり腐食など、多くの設備不具合が発生し、メーカー廃盤・部材調達の遅延などで、問題が長期化した。長期化する中でも、メーカー調整、利用者への催事影響最小化、行政・プラザ施設館調整を行い、環境維持を行った。 ● 令和4年度の急激な光熱水費単価上昇に対し、令和5年度は単価上昇基調が減少し、光熱水費の余剰が見込まれたため、余剰想定分を積極的に市民還元を行った。さざなみホール楽屋の和室畳の新調入れ替え、さざなみホールプロジェクターの舞台面からのHDMI 接続化を可能にするなど、積極的なサービス向上施策を実施した。	
③ 近隣市町との交流・連携		
目標	○ 文化プラザが地域の文化活動、創造的活動の拠点となり、他の近隣市町との交流・連携を進めます。	
実施内容	【((4) ③再掲) ホール】 ● 逗子アートフェスティバル2023 ホール共催事業を全1企画開催した。	

容	前 ホール共催事業を全2企画開催した。 ● プラザ施設館連携の取り組み 逗子市内全小学校が交流センタープールを利用することに伴うフェスティバルパークへのバス乗り入れ対応協力、アクティブ交番、交流センター照明不具合によるスイッチ操作不可となり分電盤での対応となった際も操作マニュアルを作成し各施設に共有する等、連携・協力を図り、プラザ間連携に積極的に取り組んだ。12月20日に発生した逗子市内他エリアの波及事故により、逗子文化プラザにて全館停電事案が発生した際も、早急に復電対応を実施するとともに、原因究明に努めプラザ施設長等連絡会議において発生要因・対処方について情報共有を図った。
※新型コロナウイルス感染症の影響	【ホール】 コロナ5類感染症移行を受け、さざなみホールでアルコールを含む飲食利用を5月8日から解禁するなど、制限のない通常の運用形態に戻している。

自己評価と見直すべき点	a. 順調である。 b. 概ね順調である。 c. 順調であるとみなせない。 【自己評価】 ホールについては、所管課で毎月モニタリングを実施し、運営状況の把握と改善に向けた指導を行っている。 文化プラザは、竣工後18年が経ち躯体・設備に不具合が発生する頻度が高まっており、安全面、コスト面等より優先順位を付け修繕計画を進めている。 【見直すべき点】 文化振興所管課を中心とした関係部署との協力・連携については、各部署の事業の情報共有に留まっている。近隣市町との連携については、具体的な取組みを検討する必要がある。
-------------	--

総合計画における位置づけと目標	【総合計画実施計画】 ● 具体的施策に「文化芸術活動の推進（継承と創出）」が定められており、進捗状況を検証する指標として重要業績評価指標（KPI）を設定し、2029年度（令和11年度）までに「逗子アートフェスティバルの参加企画数が30企画になっている。」としている。また、次の3つを主な取組みとして位置付けている。 主な取組み① 逗子アートフェスティバルの充実 主な取組み② 文化芸術活動の振興に係る事業の推進 主な取組み③ 子どもを対象とした文化活動の振興に係る事業の推進（アウトリーチ活動等）
-----------------	---

委員会の評価	a. 順調である。 b. 概ね順調である。 c. 順調であるとみなせない。 文化振興体制の明確化という点では、文化振興基本計画が、市の総合計画の中期実施計画期間に合わせて改定されたが、施設・拠点のネットワーク整備や市民等関係機関との連携は謳われているものの、庁内の関係部署との連携はやや具体性に欠けており、今後の課題として残っている。文化振興を逗子市の行政の中軸に据える改革を実現することで日本から世界へ文化を発信する先例となることを期待したい。 指定管理業務にたいするモニタリングを毎月実施し、指定管理者とホールの運営状況や課題を共有し、解決に向け協議していることは評価できる。今後も利用者の意見を取り入れながら、誰もが安全に利用できる施設環境を形成し、地域の文化活動、創造的活動の拠点となるよう努めてほしい。 ホール設備については、竣工後18年が経つなかで、今後に向けての修繕計画が進められている。さらに、地域の文化活動の拠点として、バリアフリー化やユニバーサル・デザインの導入等に配慮した環境づくりが望まれる。
--------	---

参考資料

1. 逗子文化プラザホール 令和5年度自主文化事業

	分類	事業名	実施日時	会場	チケット料金	対象 ／定員	入場者数 (入場率)	備考 (チケット販売枚数または申込人数)
1	まち づくり	講座「コンサートの作り方」	①6月16日 (金) ②6月23日 (金)	県立逗子葉山高等学校	—	1年生	—	19名受講
2	鑑賞	【共催】第16回なぎさプラスソリステン 逗子コンサート	7月3日(土) 19:00開演	なぎさホール	全席指定 一般 4,500円 高校生 2,500円 小中学生 1,000円	551名	481名 (87.3%)	招待101名含む 最終券売数：64枚 (ホール委託69枚) ＊未就学児入場不可
3	鑑賞	LEO華リサイタル2023 -GRID//OFF-	7月9日(土) 14:00開演	なぎさホール	全席指定 一般 前売3,500円 (当日4,000円) 高校生以下 前売2,000円 (当日2,500円)	525名	331名 (63.0%)	招待7名含む 最終券売数：354枚 ＊未就学児入場不可
4	鑑賞	逗子落語会 蝶花楼桃花・桂宮治 二人 会	7月15日(土) 17:00開演	なぎさホール	全席指定 一般 前売3,500円 (当日4,000円) 高校生以下 前売2,000円 (当日2,500円)	551名	456名 (82.8%)	招待2名含む 最終券売数：461枚 ＊未就学児入場不可
5	トモ イク	絵本作家 山本祐司さんと 一緒に絵本をつくらう2023 こどものための手作り絵本講座 おとなのための手作り絵本講座	こども： 7月22日(土) 24(月) 26日(水) 8月9日(水) おとな： 9月23日(土) 30日(土) 10月14日(土)	さざなみホール	参加費 【施設】2,000円 【オンライン】1,000円	小学生 ／70名 中学生以上 ／35名 オンライン／ 60名(各回20 名)	こども：70名 (100%) おとな：35名 (100%) オンライン： 15名(25.0%)	＊先着順 ＊オンライン受講者の材料は別途300円で購入可 ＊こども：午前35名、午後36名(1名キャンセル)、 オンライン10名 ＊おとな：35名、オンライン6名
6	社会的 包摂	【共催】KAATキッズ・プログラム 2023 さいごの1つ前 作品の1シーンを一緒につくろう！ 無料創作ワークショップ	8月4日(金)	ギャラリー	無料	小学校 3年生～ 6年生	—	6名参加
7	社会的 包摂	【共催】KAATキッズ・プログラム 2023 さいごの1つ前	8月6日(日) 14:00開演	なぎさホール	全席自由 おとな 4,500円 こども 1,000円 おとな・こどもペア券5,000 円 神奈川県民割引 4,000円	428名	161名 (37.6%)	招待43名含む 最終券売数：63枚 (ホール委託100枚) ＊4才からチケット必要 ＊3才以下入場不可
8	トモ イク	手作り絵本のミニ展覧会	こども： 8月24日(木) ～27日(日) おとな： 11月16日(木) ～19日(日)	ギャラリー	—	—	こども：131 名 おとな：209 名	こども：作品16点 おとな：作品20点
9	まち づくり	アウトリーチ アート便2023	9月～3月	市内小中学校	—	—	①167名 ②45名 ③211名 ④79名 ⑤189名 ⑥135名 ⑦105名 ⑧106名 ⑨120名 ⑩128名 ⑪60名 ⑫118名 ⑬167名	和太鼓 (和太鼓グループ彩～sai～) ①9月6日(水)沼間小学校3年生(1) ②9月15日(金)逗子社の郷(1) ③11月9日(木)体験学習施設スマイル(1) ④12月8日(金)沼間中学校2年生(1) ⑤12月14日(木)久木中学校2年生(1) 世界の音楽 (葛西啓之・杉田篤史・東川翼) ⑥10月24日(火)双葉保育園(1) ⑦10月24日(火)池子小学校5,6年生(1) ⑧12月20日(水)逗子中学校2年生(1) ⑨2月21日(水)逗子中学校3年生(1) 落語 (三遊亭わん丈) ⑩11月15日(水)逗子小学校5年生(1) ⑪12月13日(水)小坪小学校5年生(1) ⑫12月13日(水)久木小学校6年生(1) ⑬2月20日(火)久木中学校3年生(1)
10	まち づくり	【共催】交流センターフェア2023	9月9日(土)	なぎさホール	入場無料	551名	—	舞台裏体験参加生徒：8名
11	鑑賞	青島広志のおしゃべりコンサート	9月10日(日) 14:00開演	なぎさホール	全席指定 一般3,000円 高校生以下1,500円	551名	197名 (35.8%)	招待2名含む 最終券売数：205枚 ＊未就学児入場不可

	分類	事業名	実施日時	会場	チケット料金	対象 ／定員	入場者数 (入場率)	備考 (チケット販売枚数(当月末時点)) または由1.33み人数
12	地域 資源	逗子次世代育成プロジェクトVol.4	11月18日(土)	なぎさホール	全席指定 前売4,000円 当日4,500円	528名	62名 (100.0%)	最終券売数：62枚 ＊0才からチケットが必要
13	社会的 包摂	【共催】みんなでアート	10月21日 (土)、22日 (日)	さざなみホール ギャラリー	入場無料 (一部有料)	一般	400名	＊逗子アートフェスティバル2023企画 ＊ソーイングワークショップ ①7月29日(土)、②8月5日(土)、③9月3日(日) ＊入場者数はフェスティバルパークも含む
14	鑑賞	細川千尋ピアノ・トリオ JAZZ LIVE Seasons of Love～Broadway Jazz	12月3日(日) 14:00開演	なぎさホール	全席指定 一般 前売3,500円 (当日4,000円) 高校生以下 前売2,000円 (当日2,500円)	525名	150名 (28.6%)	招待4名含む 最終券売数：152枚 ＊未就学児入場不可
15	社会的 包摂	0才からのコンサート ビバ！！パーカッション	12月16日(土) 11:00開演	なぎさホール	全席指定 おとな 前売1,500円 (当日1,800円) こども 前売500円 (当日800円)	551名	327名 (59.3%)	招待5名含む 最終券売数：357枚 ＊0才からチケット必要
16	まち づくり	和太鼓グループ彩～sai～ 逗子公演 Vol.5 和太鼓彩プロ化10周年記念プロジェクト 第三弾 渾Brilliance	1月20日(土) 14:00開演	なぎさホール	全席指定 一般 前売3,500円 (当日4,000円) 高校生以下 前売2,000円 (当日2,500円)	525名	463名 (88.2%)	招待4名含む 最終券売数：503枚 ＊未就学児入場不可
17	地域 資源	華麗なる双子 山田姉妹ソプラノデュオコ ンサート ふたりで新ぐ、やすらぎのハーモニー ～ 逗子のころ～ withなぎさ合唱団	2月10日(土) 14:00開演	なぎさホール	全席指定 一般 前売3,000円 (当日3,500円) 高校生以下 前売2,000円 (当日2,500円)	551名	487名 (92.7%)	招待12名含む 最終券売数：524枚 ＊未就学児入場不可
18	鑑賞	【さざなみ亭落語会】 三遊亭わん丈& みんなで創る落語会 其の七	2月17日(土) 14:00開演	さざなみホール	全席自由 一般 2,000円 高校生以下 1,000円	120名	122名 (101.7%)	招待1名含む 最終券売数：127枚 ＊未就学児入場不可
19	鑑賞	KAATカナガワ・ツアー・プロジェクト 2023 「箱根山の美女と野獣」「三浦半島の人 魚姫」	2月28日(土)	なぎさホール	入場整理番号付き自由券 一般 3,800円 神奈川県民割 3,400円 U24チケット 1,900円 高校生以下 1,000円 シルバー割 3,300円	338名	264名 (78.1%)	招待46名含む 最終券売数：123枚 (ホール委託125枚) ＊3才以下入場不可
20	まち づくり	【共催】能登半島地震被災者支援活動報 告会	3月18日(月) 15:00開演		入場無料	60名	21名 (35.0%)	YouTube (3月末)：116回
21	鑑賞	富田大×山崎祐介 スペシャル・デュオ ～テチエロとハーブによる美しい音色～	3月20日(水) 14:00開演	なぎさホール	全席指定 一般 4,000円 高校生以下 2,000円	554名	543名 (98.2%)	招待3名含む 最終券売数：551枚 ＊未就学児入場不可
22	トモ イク	【共催】トモイクフェスティバル2024	3月23日(土) ～24日(日)	なぎさホール さざなみホール ギャラリー	—	—	3,507名	

2. 逗子市文化振興基本計画調査・評価委員会規則

(趣旨)

第1条 この規則は、逗子市文化振興条例（平成21年逗子市条例第15号）第7条第1項の規定に基づき、逗子市文化振興基本計画調査・評価委員会（以下「委員会」という。）を設置し、その運営について必要な事項を定めるものとする。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について調査及び評価を行い、その結果を教育長に提言する。

- (1) 逗子市文化振興基本計画（以下「基本計画」という。）における施策に関する適切な実施に関すること。
- (2) その他基本計画に関すること。

(組織)

第3条 委員会は、委員5人以内をもって組織する。

(委員)

第4条 委員は、次に掲げる者のうちから教育長が委嘱する。

- (1) 公募による市民
 - (2) 学識経験を有する者
 - (3) その他教育長が特に必要があると認める者
- 2 委員の任期は、3年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 3 委員は、再任されることができる。

(委員長等)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選により定める。

- 2 委員長及び副委員長の任期は、委員の任期による。
- 3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議は、委員長が招集し、その議長となる。

- 2 委員会は、委員の半数以上の出席がなければ会議を開くことができない。
- 3 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(意見の聴取等)

第7条 委員長は、必要があると認めるときは、専門的事項について学識を有する者、市職員その他の者に対し、その出席を求めて意見又は説明を聴くことができるほか、資料の提出その他必要な協力を求めることができる。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、文化スポーツ課において処理する。

(委任)

第9条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。

(招集の特例)

- 2 委員会の最初の会議は、第6条第1項の規定にかかわらず、教育長が招集する。

3. 逗子市文化振興基本計画調査・評価委員会 委員名簿

役職	委員氏名	団体名、所属等
	奥野 花代子	公募市民
	伊藤 裕夫	学識経験者（日本文化政策学会顧問）
	富岡 幸一郎	学識経験者（関東学院大学教授）
	山崎 稔恵	学識経験者（関東学院大学名誉教授）

（敬称略）

4. 逗子市文化振興基本計画 調査・評価委員会 会議日程

第1回

開催日時：令和6年7月5日（金）14時00分～

開催場所：市役所第5会議室

議題：（1）令和5年度事業に関する評価の対象、方法について
（2）令和6年度事業について
（3）その他

第2回

開催日時：令和6年10月2日（水）10時00分～

開催場所：市役所第5会議室

議題：（1）令和5年度事業に関する評価について
（2）その他

逗子市文化振興基本計画調査・評価委員会
令和5年度事業に関する評価報告書

発 行 逗子市文化振興基本計画調査・評価委員会
発行日 2024 年（令和 6 年） 月
編 集 逗子市市民協働部文化スポーツ課
〒249-8686 神奈川県逗子市逗子 5-2-16
TEL: 046-873-1111 FAX: 046-873-4520
E-mail: bunkasports@city.zushi.lg.jp